

ふれあい情報

速報

■発行 日本高齢・退職者団体連合(退職者連合)
 ■発行人 羽山 治美 (編集人) 林 道寛
 ■連絡先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11
 Tel:03-5295-0507 Fax:03-5295-0541
 <e-mail>taisyokusharengo@sv.rengo-net.or.jp
 <ホームページ>http://tr.jtuc-rengo.jp

2015年4月15日(水)

第202号

(速報の記事・写真の転載は自由。データが必要な場合は送付可)

5. 15 国会前座り込み闘争で労働法制改悪許さない

連合と連携して安倍政権の暴走にストップを!

連合「労働者保護ルール改悪阻止ウィーク」第一次行動へ連携しよう

暴走する安倍政権は、5月連休明けの国会で連合が反対している「派遣法改悪法案」や「過労死促進法案」などの労働法制の改悪法案を強行成立させようとしています。

社会保障制度の安定のためには、それを支える労働者、とりわけ若者の雇用の確保と安心して働けるディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)が不可欠です。

こうした政府・与党の動きに対して、連合は5月11日から15日までの1週間を「労働者保護ルール改悪阻止ウィーク」として第一次行動を展開することを決めました。

連合とともに、一貫して労働法制改悪反対の取り組みを行ってきた退職者連合は、すでに3月17日に開催した第4回幹事会で、第189通常国会での政策・制度(季節要求)の実現に向けては、連合と連携して行動を起こすことを確認しています。これを受けて4月14日に開いた第9回常任幹事会において、“暴走する安倍政権にストップをかけるため”、連合と連携して国会闘争を取り組むことを決めました。以下の行動への会員のみなさんのご参加をお願いいたします。

<労働法制改悪阻止5.11院内集会>

日時 5月11日(月)
15:00~15:40

会場 衆議院第1議員会館
1階多目的会議室

<労働法制改悪阻止5.15国会前座り込み行動>

日時 5月15日(金)
9:00~16:00

場所 衆議院・参議院議員会館前

<「STOP THE 格差社会!暮らしの底上げ実現」5.27全国集会>

日時 5月27日(水)
18:30~19:30

場所 文京シビックホール
(文京区役所隣り)

東京都文京区春日1-16-21
TEL03-5803-1100

<交通>メトロ後楽園駅下車
徒歩5分。JR水道橋駅(東口)下車
徒歩8分。都営三田線水道橋駅下車
徒歩5分



第9回 連合・ILEC

幸せさがし文化展

どなたでも応募できます

絵画 | 写真 | 書道 | 俳句 | 川柳

募集(俳句・川柳) | 2015年2月1日(日)~5月15日(金)

期間(絵画・写真・書道) | 2015年4月1日(水)~5月15日(金)

◆賞 俳句・川柳 | 連合大賞・ILEC大賞
各5万円 ほか

絵画・写真 | 連合大賞・ILEC大賞
書道 | 各10万円 ほか

◆主催 連合、(公社)教育文化協会

◆お問い合わせ
(公社)教育文化協会(略称: ILEC)
TEL: 03-5295-5421

詳しいことは

作品募集

日韓の退職者組織 が初の国際交流

韓国の退職者でつくる韓国退職者総連合会の崔鳳翔会長が、4月14日(火)午前、日韓の退職者組織では初めてとなる親善交流のため退職者連合本部を来訪しました。訪問団員は、韓国ILO協会の李虎植氏ら4名。退職者連合からは、阿部保吉会長、菅井義夫次長、野田那智子次長の3人が出席しました。



▲初めてとなった日韓の退職者組織の交流。前列右が崔会長、左は阿部会長。(2015年4月14日、連合本部3階)

韓退総連が退職者連合本部を訪問

今回の交流のきっかけは、日本ILO協会が主催する訪問団が今年3月下旬に韓国を視察。副団長だった菅井次長が崔会長と面談したことから実現したものです。こうしたことから、この日の交流には日本ILO協会の長谷川真一専務理事と山崎精一企画担当も参加しました。

連合本部3階応接会議室で行なわれ懇談では、はじめに阿部会長があいさつし「戦後70年の節目にあたり、過去の戦争の過ちに対して安倍総理の動向に注目している。反省の上に未来志向でなければいけない。韓国とは近隣国であり友好親善をはかって行きたい」と訪問団を

歓迎しました。

今回の訪問のねらいは、わが国の退職者組織の活動の様子を知ること。退職者連合の活動紹介では、菅井次長が「年金、医療・介護など、高齢者にとって重要な課題について、季節要求と通年要求として中央や地方で政府や行政に対して要請行動を行っている。地域ではボランティア活動などを積極的に行い、速報で全国に伝えている」と資料を示しながら詳しく説明しました。

「速報を送ってほしい」と韓国側が要望

意見交換では、韓国側から連合との関係についての質問や「速報を送ってほしい」などの要望がありました。菅井次長は、連合と政策などで連携していることを説明するとともに「韓国で退職者連合のホームページを見れば、速報も閲覧できます」と教える場面もありました。

懇談を終えて阿部会長は「日韓の退職者をはじめ、今後多くの国の退職者組織と国際交流を深めていくことは退職者連合として重要になる」語りました。なお、韓国退職者総連合会は、5年ほど前に結成され、現在会員数は約2万人。会費は徴収しておらずFKTU(韓国労働組合総連盟)からの支援と会員の自己負担で活動しているとのこと。

連合・教育文化協会共催
第12回

私の提言

「働くことを軸とする安心社会」
の実現に向けて

具体的な提言を
待っています!

募集

応募締切

2015年8月17日(月)必着

表彰

優秀賞 表彰盾と副賞 **20万円**
 佳作賞 表彰盾と副賞 **10万円**
 奨励賞 表彰盾と副賞 **3万円**
☆応募者には、もれなく記念品を進呈(除く、入賞者)

募集内容

連合が提起している「働くことを軸とする安心社会」の実現につながる具体的な提言をお寄せください。
(オリジナルで未発表のものに限る)

応募資格

どなたでも応募できます。

応募方法

電子媒体(E-mailなど)による応募

応募先・問い合わせ先

公益社団法人 教育文化協会
 電話 03-5295-5421
 E-mail info-ilec@ebu.jtuc-rengo.or.jp

詳しくは